

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	叡啓大学
設置者名	広島県公立大学法人

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
ソーシャルシ ステムデザイン学 部	ソーシャルシ ステムデザイン学 科	夜間・ 通信	20			20	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.eikei.ac.jp/admissions/scholarship/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	叡啓大学
設置者名	広島県公立大学法人

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/yakuinjouhou.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社中国放送 相談役	令和3年4月 1日～令和5 年3月31日	法人運営・産学連携
非常勤	広島県教育委員会 非常勤理事	令和3年4月 1日～令和5 年3月31日	高大接続・教育改革
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	叡啓大学
設置者名	広島県公立大学法人

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各年度に開講する授業科目の授業計画書(シラバス)は、授業科目名、担当教員氏名、単位数、必修・選択の別、開講学年、開講学期、授業概要(学習内容)と方法、教育目標(育成するコンピテンシーを含む)、各回の授業計画、成績評価方法、教科書、参考書、履修条件、関連科目等を記載して、授業科目の担当教員が作成し、インターネットにより大学のホームページ上で公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学ホームページにて公表 (https://www.eikei.ac.jp/academics/curriculum/)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業科目の成績評価においては、学問的知識の理解度の評価とコンピテンシー修得度の評価を統合して、その授業科目の評価を認定する。 コンピテンシー評価については、共通ルーブリックを各科目に振り分けた科目ルーブリックを基準として行う。 学期中や学期末のレポート、演習課題、プレゼンテーション、試験、グループワークへの参画等授業への貢献などを対象として、対象ごとにあらかじめ定めた評点の配分割合により、知識の理解度とコンピテンシーを評価し、合格と判定された者に単位を付与する。 各授業科目の評価方法については、シラバス内に記載している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の学修意欲を高めるとともに、教育の質保証と学生支援に資することを目的としてGPA（グレード・ポイント・アベレージ）を導入している。</p> <p>GPAは、5段階評価によって成績認定される授業科目であって、卒業要件に算入できる授業科目等に導入し、学期GPA及び通算GPAを算出することとし、算出方法については学生便覧に記載し、大学のホームページ上で公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学生便覧へ記載し、大学ホームページで公表 (https://www.eikei.ac.jp/about/disclosure/)
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>原則、4年以上在学し（休学の期間は在学期間に含まない。）必要な単位数を修得した者について、卒業を認定する予定としており、その旨を学則に定め、ホームページで公表している。</p> <p>また、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）については、大学として定めるとともに、ホームページで公表している。</p> <p>卒業認定に当たっては、教員会議の審議を経た上で学長が決定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学則等に定め、大学のホームページで公表 (https://www.eikei.ac.jp/academics/policy/)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	叡啓大学
設置者名	広島県公立大学法人

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/46/09-zaimuinf.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/46/09-zaimuinf.html
財産目録	(公立大学のため該当なし)
事業報告書	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/gyomureports.html
監事による監査報告(書)	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/46/09-zaimuinf.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 広島県公立大学法人令和3年度年度計画 対象年度: 令和3年度)
公表方法: https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/plan.html
中長期計画(名称: 広島県公立大学法人第三期中期計画 対象年度: 令和元~6年度)
公表方法: https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/chu-keikaku.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 新設大学のため記載不要

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: (記載省略)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ソーシャルシステムデザイン学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.eikei.ac.jp/about/disclosure/)
(概要) <大学> 社会を俯瞰する視野を持ち、他者との協働のもと、文理の枠を越えた知識やスキルを組み合わせ課題の解決を図り、新たな価値を創り出すことのできる人材を育成し、地域から国際社会まで広く貢献することを目的とする。 <学部> 本学部のソーシャルシステムデザインの理念は、「自らが将来のありうべき社会像を創ること」であり、そのために、自らが課題を発見し、解決策を立案し、他者と協働しながら、リーダーシップを発揮し、実行することを通じて、新たな社会価値を生み出すことのできる人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページのディプロマ・ポリシーに公表) https://www.eikei.ac.jp/academics/policy/
(概要) 本学の目指す人材育成を実現するため、次のコンピテンシー (資質・能力) を身に付けたと認められるものに学位を授与する。 ア 幅広い教養を基盤とする複眼的・多角的な視野を養い、グローバルな視点から将来を見通し、概念的思考力などを用いて、社会の変化がもたらす本質的な課題を発見する力 (先見性) イ デジタルリテラシーを基盤に、探究心を持って新しい情報や知識の収集・調査・分析を行い、論理的思考力などを用いて、統合的な解決策を戦略的に立案する力 (戦略性) ウ 個人や社会の多様性を尊重し、外国語能力やコミュニケーション力を駆使して、異なる文化・価値観等を有する他者とも相互に信頼関係を構築し、協働する力 (グローバル・コラボレーション力) エ リーダーシップを持って何事にも主体的・積極的にチャレンジし、困難に直面してもあきらめずに最後までやり抜くことを通じて、物事を実行する力 (実行力) オ 高い志と倫理観を持ち、生涯にわたって学び続ける姿勢を通じて、自己を高める力 (自己研鑽力)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページのカリキュラム・ポリシーに公表) https://www.eikei.ac.jp/academics/policy/
1 知識・スキルの「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系 本学の教育課程は、卒業認定・学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー) に定めたコンピテンシー (資質・能力) を身に付けられるよう、「リベラルアーツ科目」・「基本ツール科目」・「実践英語」による知識・スキルの「修得」と、「課題解決演習」と「体験・実践プログラム」による「実践」を、学生の課題意識や学修状況に応じて履修し、学士力を培うカリキュラム体系とする。
2 ウィンドウの設定による学修 リベラルアーツ科目については、実社会における課題に対して、国際社会全体の持続可能な開発目標として設定されている SDGs の 17 のゴールを念頭に置きながら、複眼的・多角的視野やグローバルな視点から将来を見通すことのできる力などを養うため、学生が各自の興味・関心に応じて、課題を見る際の視点となる「ウィンドウ」を選択し、各ウィンドウのテーマに有用な知識を修得できるカリキュラム構成とする。

3 実践的なグローバル・コラボレーション力の育成

実践的な英語カリキュラムや日英2か国語での授業履修、海外留学や海外体験プログラムなどを通して、グローバルに活躍し、多様な人々と協働できるコミュニケーション力を身に付けさせるとともに、海外から積極的に留学生を受け入れ、留学生と日本人学生が共に学び、切磋琢磨することにより、多様性を尊重し、異なる価値観等を有する他者とも相互に信頼関係を構築し、協働する力を涵養する。

4 実社会の多様な主体と連携した実践的な教育の導入

実社会で生じている課題を教育に積極的に取り入れていくことができるよう、企業やNPO、国際機関、地方公共団体など学外の様々な主体と恒常的に連携を行うプラットフォームを構築し、企業等の多様な主体と連携した実践的な課題解決演習を行うことにより、本質的な課題を発見する力、統合的な解決策を戦略的に立案する力や、最後までやり抜く実行力を養うとともに、海外を含む実社会をフィールドとした体験・実践プログラムを展開し、多様性を尊重して協働する力や実行力を養う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページのアドミッション・ポリシーに公表 <https://www.eikei.ac.jp/academics/policy/>）

（概要）

求める学生像

- ・ 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係に強い関心と探究心があり、他者と積極的にコミュニケーションを行いながら学ぶ意欲がある者
- ・ 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組み、自らの能力の向上を目指す者
- ・ 高校までの学習で基本的な学力を身に付け、幅広い視野を持って自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組み、社会に貢献しようと考えている者

【入学者に求める資質・能力・意欲】

- ・ 基本的な学力
- ・ 幅広い視野
- ・ 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係への強い関心と探求心
- ・ 学ぶ意欲
- ・ 自らの能力の向上を目指す意欲
- ・ 社会貢献意欲
- ・ 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組もうとする姿勢
- ・ 他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢
- ・ 自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.eikei.ac.jp/about/disclosure/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
ソーシャルシステムデザイン学部	—	5人	6人	3人	0人	0人	14人
ソーシャルシステムデザイン学科	—	5人	6人	3人	0人	0人	15人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		9人					9人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：【記載不要】					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
（記載省略）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ソーシャルシステムデザイン学部	100人	86人	86%	400人	86人	21.5%	人	人
合計	100人	86人	86%	400人	86人	21.5%	人	人
（備考）開学初年度のため数値が少なくなっている。 入学者及び在学生については、秋入学者を含んでいない。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
	(1	開学初年度のため記載不要		人 (%)
	(100%)	(%)	(%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な進学先・就職先）（任意記載事項）				
（備考）				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他	
		人	人	人	人	
	(100%)			%)	(%)	
	(100%)	開学初年度のため記載不要			人	人
				%)	(%)	
合計	人	人	人	人	人	
	(100%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
(備考)						

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 各年度に開講する授業科目の授業計画書(シラバス)は、授業科目名、担当教員氏名、単位数、必修・選択の別、開講学年、開講学期、授業概要(学習内容)と方法、教育目標(育成するコンピテンシーを含む)、各回の授業計画、成績評価方法、教科書、参考書、履修条件、関連科目等を記載して、授業科目の担当教員が作成し、大学ホームページ上で公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学生の学修意欲を高めるとともに、教育の質保証と学生支援に資することを目的としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)を導入している。

GPAは、5段階評価によって成績認定される授業科目であって、卒業要件に算入できる授業科目等に導入し、学期GPA及び通算GPAを算出することとし、算出方法については学生便覧に記載し、ホームページ上で公表している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
ソーシャルシステムデザイン学部	ソーシャルシステムデザイン学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1 学期当たり 10 単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: https://www.eikei.ac.jp/about/public_relations/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
ソーシャルシステムデザイン学部	ソーシャルシステムデザイン学科	535,800 円	(県内者) 282,000 円 (県外者) 394,800 円	17,000 円	入学者選抜料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>【修学支援（ポート制度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年の学生を10のグループに分け、各グループが所属するポートを担当する教員2名程度を配置する。担当教員は、ポートという場を通じて日常的に学生の様子を確認するだけでなく、必要に応じて学習の進捗状況の確認や、履修に対するアドバイス、単位取得状況やコンピテンシーの獲得状況を確認するなどの支援を行っている。 <p>【経済的支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の経済事情又は、不足の災害等のため、授業料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀である学生及び留学生に対し、授業料の減免又は、徴収猶予措置を講じている。 ・独立行政法人日本学生支援機構や地方公共団体、公益財団法人等の奨学金制度について周知するとともに、必要に応じ説明、相談等を行っている。
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 学生が進路選択を含む人生の意思決定において主体性を発揮していけるよう、アクティブラーニングを中心とした教育手法の開発及び浸透を図るとともに、学生のコンピテンシー獲得及びキャリア形成支援を行うことを視野に、コンピテンシー・ディベロップメント・センターを設置している。同センターにおいては、進路選択に資する具体的な取り組みとして、社会の第一線で活躍している実務家を招いてイブニングラウンジ（講演や対談形式による交流会）を実施し、実社会との接点を学生に提供している。なお、コロナウィルス感染症対策のため、現状ではオンラインによる開催のみとしている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>【心身の健康の支援（学生相談室・保健室）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が日頃抱える悩みや問題について、相談・助言し、学生生活を円滑に過ごせるよう援助するため、学生相談室を設置し、学生カウンセラー（学生相談員）を配置している。ポート教員等と連携しながら、学業、性格、適性、進路、対人関係、いじめ、セクシャルハラスメント、経済的問題等あらゆる相談に対応している。 ・学生生活を健康で快適に送れるよう、学校保健安全法に基づく健康診断（毎年1回の定期健康診断）を、該当学生全員に対し実施している。また、学校医（非常勤）、看護師免許を有する職員を保健室に配置し、心身の健康に関する相談や学内において発病又は負傷した場合の処置を行うとともに、必要に応じ医療機関の紹介等を行う。 <p>【障害者に関する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生生活に当たり、心身の障害により、修学上、長時間又は一時的に相当な制限を受ける学生で、支援を受けることを希望する者に対し、相談・面談等を通じて、可能な範囲で様々な配慮を行う。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：https://www.eikei.ac.jp/about/disclosure/</p>
